※令和４年度以降入学生用

学校番号	２１７

令和８年度　公民科

教科	公民	科目	政治・経済	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「最新　政治・経済」　（実教出版）						
副教材等	使用せず						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・わが国における憲法や法律、政治の基礎的理論を学び、現代社会の諸課題をどのように解決していけばよいのか、問題点を調べ、解決方法を探求する姿勢を身につけよう。
・将来の主権者として、政治参加と公正な世論の形成、地方自治などに関して学び、身近な問題に取り組んでいく力を身につけよう。
・国際社会の国家関係などを学び、国際社会における日本の役割や、国際人としての個人の自覚を深め、世界的諸課題に対する解決への姿勢を身につけよう。

２　学習の到達目標

・現代社会の諸課題の解決にむけて、事実をもとに、多面的・多角的に考察し、公正に判断する力を養う。
・積極的で主体的な課題解決の姿勢を身につけることで、将来の社会参画を視野にいれながら、さまざまな立場の意見を尊重し、各個人や各社会が協力し合うことの必要性についての自覚を深める。
・考察・選択・判断のための手掛かりとなる基礎的概念や理論を理解し、さまざまな資料から必要な情報を適切に調べ、まとめ、表現する技能を身につける。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解するとともに，諸資料から，社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して，現実社会に見られる複雑な課題を把握し，説明するとともに，身に付けた判断基準を根拠に構想する力や，構想したことの妥当性や効果，実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して，合意形成や社会参画に向かう力を身に付けている。	よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される，国民主権を担う公民として，自国を愛し，その平和と繁栄を図ることや，我が国及び国際社会において国家及び社会の形成に，より積極的な役割を果たそうとする自覚などを深めている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	現代国家と民主政治	・民主政治と法 ・民主政治の基本原理 ・民主政治のしくみと課題 ・世界のおもな政治制度	a:政治と国家，政府が何であるかを理解し、法の意義と役割を理解している。 b: 政治とはどのような営みか、自身の身近な事例にも言及しながら考察し、適切に表現している。また、多数決の長所と短所について、自身の身近な事例にも言及しながら協働的に考察し，適切に表現している。 c: 国民主権を担う公民としての自覚をもとに、民主政治のあり方や法の意義などについて主体的に理解・追究しようとしている。	考査 考査 考査 考査	考査 ワークシート 考査 考査 ワークシート	ワークシート 振り返りシート 振り返りシート ワークシート
	日本国憲法と基本的人権	・日本国憲法の成立 ・日本国憲法の基本原理 ・自由、平等に生きる権利 ・社会権と参政権・請求権 ・新しい人権 ・人権の広がりと公共の福祉	a: 日本国憲法の成立過程を理解し、憲法改正とその限界についても理解している。自由権・平等権・社会権などの諸権利の内容について、各種判例等を踏まえた上で理解している。また、日本の安全保障をめぐる現状と課題，自衛隊の海外活動の現状について理解している。 b: 日本の憲法改正手続きについて、その運用上の課題について協働的に考察し、適切に表現している。自由権、平等権、社会権について、各種判例や自身の身近な事例などと結びつけながら協働的に考察し、適切に表現している。また、「自衛のための必要最小限度の実力はどのように限界づけられるのか」といった議題について多面的に考察し、適切に表現している。	考査 考査 考査 考査 考査 考査	考査 考査 考査 ワークシート 考査 ワークシート 考査 ワークシート	振り返りシート 振り返りシート ワークシート ワークシート ワークシート ワークシート

※令和４年度以降入学生用

		・平和主義と自衛隊 ・日米安全保障体制の変化 ・21 世紀の平和主義	c: 憲法の最高法規性や日本国憲法の原理、改正手続きなどについて主体的に理解・追究しようとしている。基本的人権が保障されていることの意義を知り、関心が高まっている。また、我が国の安全保障と防衛について主体的に追究して、学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。	考査 ワーク シート 考査 ワーク シート 考査 ワーク シート	考査 ワーク シート 考査 ワーク シート 考査 ワーク シート	ワーク シート ワーク シート ワーク シート
２ 学 期	日 本 の 政 治 制 度 と 政 治 参 加	・政治機構と国会 ・内閣と行政機能の拡大 ・公正な裁判の保障 ・地方自治と住民福祉 ・政党政治 ・選挙制度 ・世論と政治参加	a:立法権・行政権・司法権それぞれの役割について理解している。地方自治の政治・経済的な課題について理解している。選挙制度の課題、政治活動に関する規制の現状について理解している。マス・メディアや市民運動が世論形成と政治にもたらす影響について理解している。 b: 立法権・行政権・司法権それぞれの議題について考え、適切に表現している。人口動向が地域に及ぼす影響について多面的・多角的に考察し、適切に表現している。より公正な選挙制度のあり方について、「多様な民意の反映」や「政治の安定」といった観点に立ちながら多面的に考察し、適切に表現している。SNS やインターネットの普及が世論形成に与えるメリットとデメリットについて多面的に考察し、適切に表現している。 c: 日本の立法権・行政権・司法権それぞれの課題について主体的に追究し、学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。地方がかかえる課題の概要を理解した上で、身近な地域の人口動向や	考査 考査 考査 考査 ワーク シート 考査 考査 考査 ワーク シート	考査 考査 考査 考査 ワーク シート 考査 考査 考査 ワーク シート	振り返り シート 振り返り シート 振り返り シート ワーク シート 振り返り シート 振り返り シート ワーク シート

※令和４年度以降入学生用

			課題を探求しようとしている。選挙制度について関心を深めており，デジタル時代の選挙のあり方の課題を意欲的に解決しようとしている。政治参加と公正な世論の形成について主体的に追究し、学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。			
	現代の経済社会	・経済活動の意義 ・経済社会の変容 ・経済主体と市場の働き ・企業の役割 ・国民所得 ・経済成長と国民の福祉 ・金融の役割 ・日本銀行の役割 ・財政の役割と租税	a：資本主義経済の成立と展開について理解している。需要と供給により価格と生産量が変化することを理解している。株式会社の仕組みと、株主と経営者との関係を理解している。金融政策と財政政策に求められる機能について理解している。 b：資本主義経済の成立以降、経済社会がどのように展開していったか、政府の役割の変化と関連させて考察している。市場経済における生産要素の効率的な配分や、政府の適切な施策について多面的・多角的に考察・構想したりしたことを、論拠をもって表現している。株式会社の仕組みと、株主と経営者との関係について適切に表現している。金融政策と財政政策に求められる機能について多面的・多角的に考察し、論拠をもって表現している c：資本主義経済と社会主義経済の特徴について主体的に追究し、学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。市場メカニズムの働きや市場の限界について主体的に追究して、学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。社会の課題を解決する会社をどのように起業していくか、主体的	考査 考査 考査 ワークシート 考査 考査 ワークシート 考査 考査 考査	考査 考査 考査 ワークシート 考査 考査 ワークシート 考査 考査 考査	振り返りシート 振り返りシート ワークシート 振り返りシート 振り返りシート ワークシート 振り返りシート 振り返りシート 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

		・日本の財政の課題	に考察しようとしている。金融政策と財政政策の機能について、学習したことを社会生活に生かそうとしている。	考査 ワーク シート	考査 ワーク シート	ワーク シート
	現代の日本経済と福祉の向上	・日本経済の成長と課題	a：戦後復興、高度経済成長、バブル経済の発生と崩壊などの背景や要因について理解している。中小企業と大企業の違いを理解している。典型的な消費者問題や悪質商法にはどのようなものがあるか理解している。職場における不当な差別的扱いがあってはならず、そのための法整備と対策が急がれることを理解している。 b：人口減少社会が直面する経済的課題について協働的に考察したうえで、そのための経済政策を選択・判断し、表現している。日本経済における中小企業の構造的な課題について、大企業との関係や国際化の観点から多面的・多角的に考察している。消費者の権利と責任について、自由と義務の観点から整理し、適切に表現している。どうすれば職場における不当な差別的取り扱いが解消できるのか、多面的に考察している。 c：今後の日本経済がどのような豊かさを目指していくべきかについて主体的に追究している。中小企業をめぐる現状を理解した上で、ベンチャー企業のあり方について興味関心を持ち、起業について探究するための意欲を高めている。消費者問題について学習したことを社会生活に生かそうとしている。会社情報や労働条件に対する興味関心を高め、就業に際して自身が重視する観点を主体的に追究しようとしている。	考査	考査	振り返り シート
		・中小企業と農業		考査 ワーク シート	考査 ワーク シート	ワーク シート
		・消費者問題		考査 ワーク シート	考査 ワーク シート	ワーク シート
		・公害防止と環境保全		考査	考査	振り返り シート
		・労働問題と労働者の権利		考査	考査	振り返り シート
		・こんにちの労働問題		考査 ワーク シート	考査 ワーク シート	ワーク シート
		・社会保障の役割と課題		考査 ワーク シート	考査 ワーク シート	ワーク シート

※令和４年度以降入学生用

３学期	現代の国際政治	・国際社会と国際法 ・国際社会の変化 ・国際連合と国際協力 ・こんにちの国際政治 ・人種・民族問題 ・軍拡競争から軍縮へ ・日本の外交と国際社会での役割	a：主権国家と国際社会の成り立ちについて理解している。国連が取り組む課題について理解している。人種・民族問題について、具体例（アパルトヘイトなど）を踏まえながら理解している。日本が北方領土と竹島において領土問題を抱えていることを理解している。 b：国際政治や国際法はどのようなものなのか、国内政治や国内法との違いに着目してまとめるなど、適切に表現している。国際連合が抱えている課題について、採決や財政の観点などから協働的に考察し、それらを適切に表現している。人種・民族問題について整理し、適切にまとめることができる。日本の領土問題について、平和的な解決のために必要なことを多面的に考察している。 c：よりよい社会の実現を視野に、主権国家間の国家利益を調整することについて学習したことを、他者との利害調整といった社会生活に生かそうとしている。国際連合の専門機関が取り扱っている人権や社会、経済や環境問題に関する行動について主体的に追究し、国際的な課題を意欲的に解決しようとしている。人種・民族問題や紛争の背景や影響を理解した上で、国際社会における難民の現状や平和の実現について興味関心を持ち、「持続可能な平和のあり方」を探究するための意欲を高めている。国際貢献について主体的に追究し、政府レベルや企業レベル、市民レベルの観点から、課題を意欲的に解決しようとしている。	考査 考査 ワークシート 考査 考査 ワークシート 考査 考査 ワークシート 考査 考査 ワークシート 考査 考査 ワークシート 考査 考査 ワークシート	考査 考査 ワークシート 考査 考査 ワークシート 考査 考査 ワークシート 考査 考査 ワークシート 考査 考査 ワークシート 考査 考査 ワークシート	振り返りシート ワークシート 振り返りシート ワークシート ワークシート 振り返りシート ワークシート

※令和４年度以降入学生用

	現代の国際経済	・貿易と国際収支 ・外国為替市場のしくみ ・第二次世界大戦後の国際経済 ・国際経済の動向 ・新興国の台頭 ・経済のグローバル化と ICT でかわる世界経済 ・発展途上国の課題と展望 ・地球環境問題，資源エネルギー問題 ・経済協力と日本の役割	a: 自由貿易のメリットについて比較生産費説をもとに理解し、保護貿易が提唱される理由も理解している。GATT、WTO における多角的交渉が目指したものについて理解している。各地域でどのような経済統合が形成されていったかについて理解している。南北問題について、その背景と現状について理解している b: 自由貿易が世界全体の発展に寄与するという仮説が適切かどうか、協働的に考察し、それを表現している。ドーハラウンドにおける協議がなぜ停滞しているのか、多面的に考察している。EU の統合について課題を見出し、各国の経済的格差の課題などについて協働的に考察し、適切に表現している。モノカルチャー経済に依存する経済上の問題について多面的・多角的に考察し、表現している。 c: 自由貿易を推進するメリットと、近年先進国が保護貿易的な動きを見せていることについて主体的に追究し、望ましい貿易のあり方を意欲的に探究しようとしている。WTO が国際経済体制に果たす役割について主体的に追究し、ドーハラウンドが抱えている課題を意欲的に解決しようとしている。EU の統合について主体的に追究し、そのなかで生じたイギリスの離脱に見られるように経済統合のひずみをどのように解消するかを意欲的に検討している。世界の貧困状況やそれを解消するための取り組みについて興味関心を持ち、「国際経済格差の是正」を探究するための意欲を高めている。	考査 ワークシート 考査 ワークシート 考査 考査 ワークシート 考査 ワークシート 考査 ワークシート 考査 ワークシート 考査 ワークシート	考査 ワークシート 考査 ワークシート 考査 考査 ワークシート 考査 ワークシート 考査 ワークシート 考査 ワークシート 考査 ワークシート	ワークシート ワークシート 振り返りシート 振り返りシート 振り返りシート ワークシート ワークシート ワークシート ワークシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度